



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

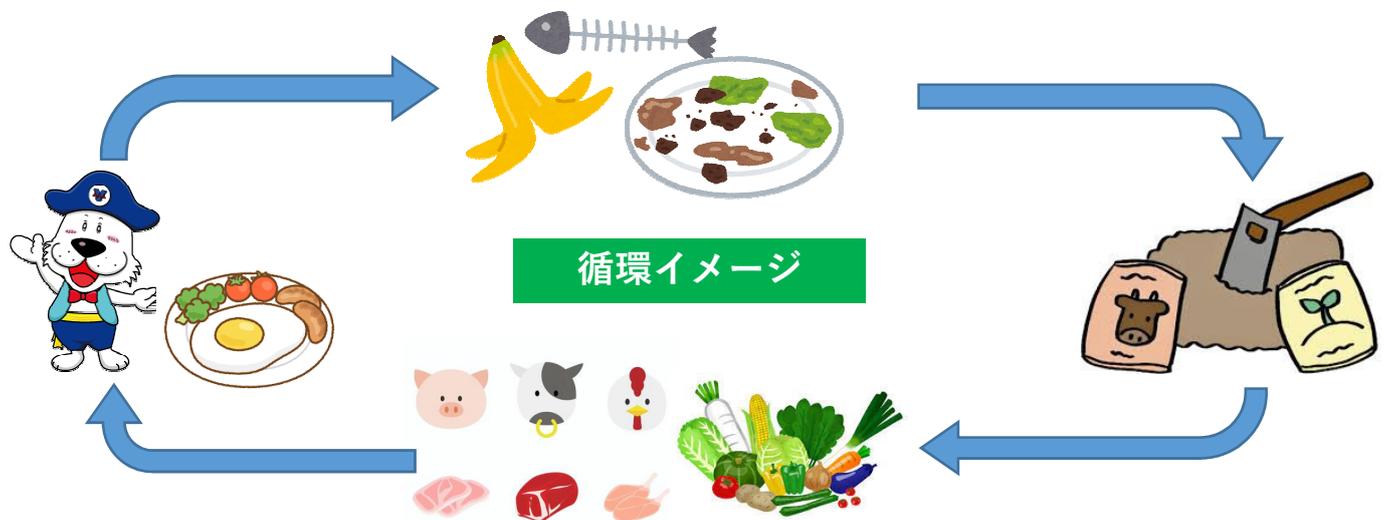
SDGsに向けた赤城の取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年の国連サミットで採択された持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17のゴールから構成されます。ここでは赤城林間学園が取り組んでいる目標についてご紹介します。



ゴミの省力化 再資源化への取り組み

赤城林間学園では利用者に食事を提供しています。当施設は大人から子供まで様々な人が食事をするため、ビュッフェ形式を採用し自ら考え食べられる量だけ取り分けることで食べ残しを減らすことに協力をお願いしています。それでも出てしまった分については、ただ廃棄するのではなく委託している回収業者が家畜用の飼料や肥料に加工することで新たな食物へと生まれ変わる。こういった循環型の社会が大地を守り、いつまでも住み続けられるまちづくりに繋がっていくと考えます。



施設内で取り組んでいるSDGs

学園敷地内に植物を植え、そこに集まる生態の観察のほか、シカによる食害の影響について知ることで目標11「住み続けられる街づくりを」と目標15「陸の豊かさを守ろう」について学びます。また、自主事業「自然に学ぼう」を開催し、自然観察指導員の資格を持つ学園スタッフが環境学習を行いました。



(公財) 横浜市スポーツ協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています